

会社名 日本アジア投資株式会社
 代表者の役職名 代表取締役社長 下村 哲朗
 (コード番号 8518 東証スタンダード市場)
 問い合わせ先 執行役員 岸本 謙司
 TEL 03(3221)8518

永代供養型樹木葬のプロデュース・宗教法人のDX支援に取り組む サンロクロク 株式会社366への戦略投資実行のお知らせ

日本アジア投資株式会社(代表取締役社長:下村 哲朗、本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、永代供養型樹木葬のプロデュース・宗教法人のDX支援に取り組む株式会社366(代表取締役 CEO 社長:伊藤 照男、本社:東京都港区、以下「366(サンロクロク)」)に戦略投資を実行しましたので、お知らせいたします。

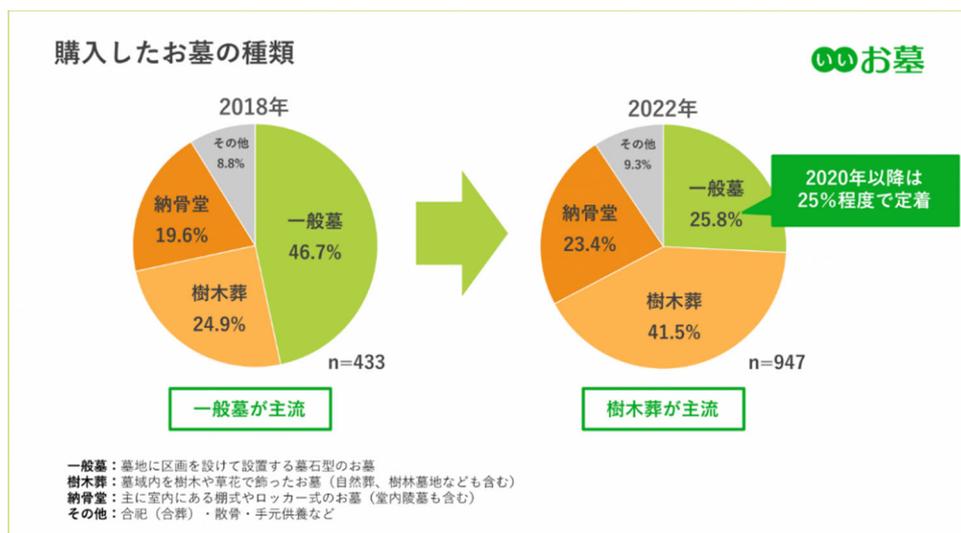
当社は、今後、366の株主としてその成長性を支援してまいります。また、366の事業にもプロジェクト投資を行い、事業パートナーとしての立場からも366を支援する計画です。

1. 樹木葬の成長性

これまで、お墓の多くは「家」単位で建立され、先祖代々同じ墓地区画に骨壺で納められた遺骨を子孫が守り継ぐものとされてきました。しかしながら、近年は、核家族化や生涯未婚化などライフスタイルの変化に伴い「個人」単位の意識が高まり、弔いの形も変化しています。特に、墓地の永代使用料を支払ってお墓を建立し、墓地使用者が供養を続ける「一般墓」に代わり、永代供養料を支払って遺骨をお寺に預け、お寺が供養を続ける「永代供養墓」が増加しています。

樹木葬とは、樹木の許に遺骨を埋葬するお墓です。立地や種類は多岐に亘りますが、その多くが永代供養墓であることや、「自然に還る」イメージがあることから、近年人気を博しています。

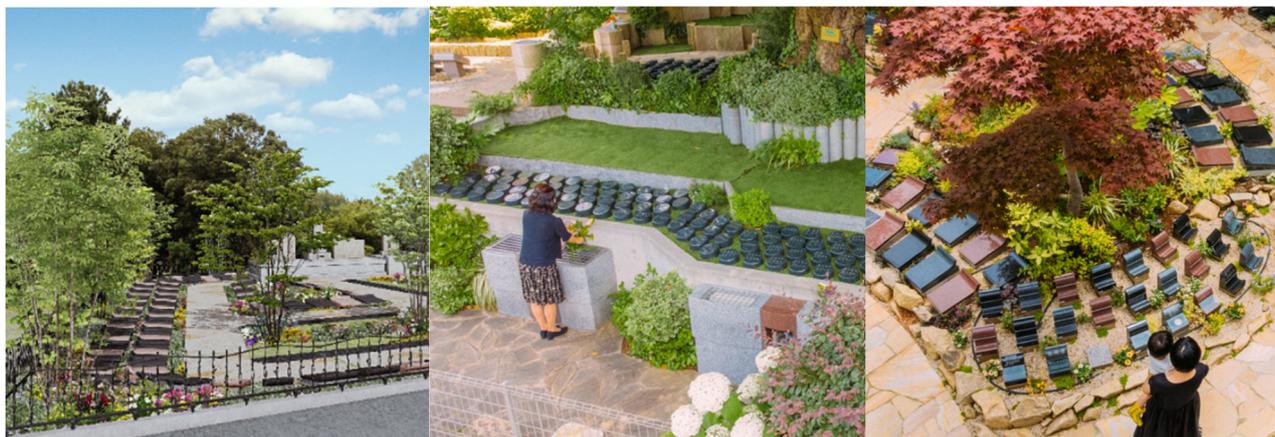
株式会社鎌倉新書による「【第13回】お墓の消費者全国実態調査(2022年)」によれば、購入したお墓の種類は「樹木葬」が2018年から2022年の4年間で16.6pt増加し、41.5%で3年連続シェア1位となりました。お墓の主流が「一般墓」から「樹木葬」へと変わり、定着してきたことが伺えます。



2. 366 の実績

366は、全国の寺院向けに、永代供養型樹木葬のプロデュースを手掛けています。代表者の伊藤氏は、樹木葬開発のパイオニアとして8年を超える実績を持ち、その知見を生かすため2020年10月に366を設立しました。設立後2年という短期間ながら、すでに3件の実績があります。

お墓の開発から企画販売までを一気通貫で行っている点が特徴であり、「お墓を作って終わり」ではなく、お墓をきっかけに市民とお寺をつなぐ環境そのものをデザインしていく必要があるとの信念を実行しています。



神奈川県 小田原市
願修寺 樹木葬 小田原の森™

東京都 台東区
長明寺 樹木葬 谷中樹陵 久遠®

静岡県 裾野市
光明寺 樹木葬 裾野の森®

また、366は、新規事業として宗教法人のDX支援にも取り組んでいます。具体的には、宗教法人によるデジタルツールを使った情報発信の支援や、会計・名簿・コミュニケーションの記録・電子決済などに対応する仏教寺院向けCRMシステムの開発を手掛けています。CRMシステムは、今後順次寺院への導入を行う計画です。

3. 投資による社会課題のソリューション支援

当社は、「日本とアジアをつなぐ投資会社として少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創る」を経営理念とし、投資活動を通じて広くSDGsに貢献することを経営の重要課題と位置づけています。具体的には、社会課題を解決するベンチャー企業や、その運営するプロジェクトに投資を行い、SDGs 関連事業の育成に貢献すると共に収益力の向上を目指しています。



366の事業は、一般墓に比べて緑豊かなスペースを生み出すとともに、少子高齢化が進む社会に適した新たな葬送の形を提供し、寺院を通じた社会コミュニティの形成に寄与します。当社は、これらの点がSDGsの目指す「2030年までに、人びとがあらゆる場所で、持続可能な開発や、自然と調和した暮らし方に関する情報と意識を持つようにする。」の実現に貢献している点を評価し、今回の投資決定に至りました。

当社は、今後、366の株主としてその成長性を支援してまいります。また、366の事業にも投資を行い、事業パートナーとしての立場からも366を支援する計画です。

会社概要 ^{サンロクロク}株式会社366

本社所在地 東京都港区港南 2-16-2 太陽生命品川ビル 28 階
代表取締役 CEO 社長 伊藤 照男
URL <https://366.today/>



会社概要 日本アジア投資株式会社

本社所在地 東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号
代表取締役社長 下村 哲朗
URL <https://www.jaic-vc.co.jp/>



以上

【お問い合わせ先】

日本アジア投資株式会社 管理グループ 丸山 (ir@jaic-vc.co.jp)